

議会運営委員会先進地視察研修報告書

- 期 日 平成30年1月9日（火）、10日（水）
- 視 察 先 滋賀県彦根市、近江八幡市
- 参 加 者 委員7名、副議長、随員2名 合計10名
- 視察概要

【滋賀県彦根市】

- 人 口 112,690人
- 面 積 196.87km²
- 視察事項 彦根市議会の議会運営について

1 彦根市議会の概要

- (1) 議員数 条例定数：24人 現員数：24人
- (2) 会派数 5会派
- (3) 常任委員会数 4委員会（予算、企画総務消防、福祉病院教育、市民産業建設）
- (4) 特別委員会数 2委員会（議会改革、決算）

2 視察内容

(1) 議会開放推進プロジェクトチームについて

市民に開かれた議会を目指すため、平成20年10月に議員有志による「議会開放推進プロジェクトチーム」を設置し、平成25年4月に議会開放推進委員会が設置された。

広報及び広聴についての機能充実を図るため、平成27年5月に議会開放推進委員会と議会報編集委員会を廃止し、議員全員が参画する3つの委員会が設置された。

① 議場開放促進委員会（8人）

【主な事業】 ・議場コンサート ・子ども議会 ・中学生議会傍聴

② 広報委員会（8人）

【主な事業】 ・市議会だよりの編集 ・Facebook更新 ・ホームページ更新

③ 広聴委員会（8人）

【主な事業】 ・議場報告会 ・意見交換会

(2) 議員間討議（自由討議）について

議会基本条例に規定している議員間での討議の具現化にも取り組んでおり、これまで常任委員会では4回の実績があるが、本会議での実施については現時点で行われていない状況である。議員間討議の進め方としては、委員会での質疑の最中に、議員間討議の申し出を受け、暫時休憩とはせずに、委員長の采配で議員間討議が始まるということである。

(3) 議会報告会について

平成26年度から議会基本条例に則り議会報告会を開催している。しかしながら参加者が少ない状況からこれまでは、議会から一方的に議案等の報告を行っていたが、平成27年12月の報告会から、市民の関心の高いものをテーマとして設定し、ワークショップ方式を取り入れ、意見交換を有効に行える環境づくりを行っている。

また、平成29年11月に初めて、ワールド・カフェ方式を取り入れ、大学生を始めとした多くの市民の参加のもと、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、活発な意見交換が行われている。

☆☆ 各委員の主な所感等 ☆☆

・議会開放の取り組みとして、小中高生や大学生と接する機会を積極的に設け、議会活動のPRとともに主権者教育に繋がる取り組みを実施しており、本市においても参考としたい。

・議会報告会については、事前の協議によりテーマを絞ったうえで開催するなど、報告会の持ち方に工夫が感じられた。本市の報告会では、フリートークの時間を設けているが、議論の内容が要望や苦情に終始するなどの課題があるため、地域・テーマ別の議会報告会の開催を検討し、その結果として議論が深まるような取り組みの必要性を感じた。

・視察対応プロジェクトチームが設置されており、議会運営や議会改革の取り組み等について、議員自らが丁寧な説明を行い質問に答えている。議員力向上のためにも大いに参考としたい。

【滋賀県近江八幡市】

- 人口 82,207人
- 面積 177.39km²
- 視察事項 近江八幡市議会の議会運営について

1 近江八幡市議会の概要

- (1) 議員数 条例定数：24人 現員数：24人
- (2) 会派数 6会派
- (3) 常任委員会数 4委員会 (総務、教育厚生、産業建設、予算)
- (4) 特別委員会数 2委員会 (市庁舎整備等、公共施設等検討)
- (5) 常設委員会数 2委員会 (議会改革推進、議会だより編集)

2 視察内容

(1) これまでの議会改革の取り組みについて

平成23年5月に、議会改革を進めるための、「議会改革推進委員会」が設置され、各会派から提案のあった検討項目について、優先順位を付けながら協議を行っている。

(これまで取り組んできた事例)

- ・常任委員会での議員相互間の自由討議開始 (H23.6)
- ・第1回議会報告会開催 (H23.10～11)
- ・本会議のインターネット動画配信開始 (H24.6)
- ・質問方式について一括方式・分割方式の選択制の導入 (H26.6)
- ・常任委員会、特別委員会の会議録をインターネット公開 (H27.5)
- ・予算常任委員会の設置 (H27.9)
- ・議会災害時行動マニュアルの策定 (H28.12)
- ・議員定数の適正検討開始 (H29.8)

(今後の検討項目)

- ・タブレット端末の導入
- ・政務活動費のインターネットでの情報公開
- ・議会による事業診断の実施
- ・広報、広聴委員会の設置など

(2) 議会報告会について

平成23年10月から市内の小校区(10カ所)で議会報告会を開催している。

参加者からは、議会からの報告は単なる行政報告であるため、議会だよりを見ればわかる。という意見や、参加者との意見交換というより要望や苦情の聞き取りが多くなってしまっているとのことであった。

少しでも参加者に興味を持っていただくために、大学教授や県の職員を講師として招き、テーマに沿った講演を行うなど参加者増につながる取り組みを実施している。

(3) 議員間討議(自由討議)について

平成23年4月1日に施行した「近江八幡市議会基本条例」に基づき、議会は、議員による討論の場であることを認識し、議員相互間の自由討議に重きを置いた運営に努めることを踏まえ、議案に対する自由討議を平成23年6月から常任委員会で実施している。

議員間討議の進め方としては、質疑が出尽くした段階で、執行部に退席を求め、議案の論点整理を行いながら合意形成に努めている。委員会審査の議論は深まったものの、自由討議の議論によって各委員の考え方が変わることは少なく、合意形成が図られるまでには至っていないようである。

(4) 政策提言について

議会は、市民の意見を的確に把握し市政に反映するとともに、執行機関に対して具体的な政策や施策を積極的に提案する政策立案機能を更に充実することが求められていることから、議員提案による条例等を以下のとおり制定した。

- ・スポーツ推進条例(平成25年3月)

※滋賀県内初となる議員提案による条例の制定

☆☆ 各委員の主な所感等 ☆☆

- ・議会基本条例に基づき、議会運営・改革をしっかりと進め、市民にとってより開かれた議会を目指す姿勢が感じ取れた。
- ・議会災害時行動マニュアルが策定され、災害時における議員の活動や役割等について整備されている。緊急事態の際に機動的な活動が図られるよう、本市においても策定に向けた検討の必要性を感じた。